

心に残る文化財子ども塾 活動の概要と様子 ～ 松江市立美保関中学校 ～

1. 活動の概要

5月15日(木)、松江市立美保関中学校で『心に残る文化財子ども塾』を行いました。はじめに、美保関中学校校区の遺跡マップを用いて美保関中学校や自分の住んでいる地域を探るところからスタートしました。マップを観察すると、多くの遺跡があることに気づきました。特に校区には縄文時代の洞窟遺跡という珍しい遺跡が存在することを図で示しながら説明しました。古墳も多く造られている地域でもあり学校周辺には多くの遺跡がみられることに驚いた様子でした。

校区の遺跡について学んだあと、実際に発掘調査で出土した土器などの遺物を時代の説明に合わせて観察しました。いくつかの土器は実際に触ってみることで感触を確かめました。

その後は「火起こし」体験です。生徒と先生が作業を分担し、2組にわかれて火おこしを行いました。当日は晴れで乾燥していたので火おこしの条件は良かったのですが、若干風が強かったこともあり、校舎の軒下で行いました。最初はスムーズな動きが難しく、煙は出るのですがなかなか火種ができませんでした。しかし、徐々に火起こし道具の使い方に慣れてきて一定のスピードで作業を行った結果、火種ができ、念願の火が起きました。もう一組も時間内に着火し、大成功で火起こし体験は終了しました。二人の生徒がそれぞれ先生と協力し、しっかり作業を行った結果、火が付いたと思います。生徒と先生全員大変喜んでいたので良かったです。火起こし体験は結構失敗することもあります。全員成功という結果となり、大変有意義な体験となりました。

2. 活動の様子



1)本物の土器に触る

両手でしっかり支え、落とさないように細かい文様まで観察しています。

2)火起こし体験



生徒と先生が一組になりチームワークで作業を進めます。



早々に着火しました。



もう一組も無事着火しました



体験後、みんなで記念撮影

3. 子ども塾を終えて

1) 児童の皆さんから…

- ・初めて火おこしをやって楽しかったです
- ・楽しかった

2) 担任の先生から…

- ・実物の遺物に触れることができよかった
- ・地元の遺跡の位置を地図で知ることができてよかった
- ・埋文センターの職員が生徒との接し方に慣れていた

3) 埋文センターから

今回は中学生が 2 名という小規模な子ども塾でしたが、盛りだくさんの内容だったと思います。校区の遺跡には全国的にも珍しい洞窟遺跡が存在しており、洞窟での縄文人の生活を復元された絵を見ながら学習したとき生徒さんは大変驚いていました。古墳も多く造られている地域であり、学校周辺の遺跡の多さに気づいてもらえたようです。小人数という利点を生かし実際に出土した土器や石器をしっかり観察することができました。土器の文様や石器の鋭さなどよく観察し、気づいていたと思います。火起こし体験は失敗も多い体験なのですが、天候に恵まれて条件は申し分なく、2 組にわかれて作業を行いました。生徒と先生の努力の結果、2 組とも無事着火でき体験は大成功に終わりました。着火した時に二人の生徒さんは大変喜んでいましたが、それ以上にこれまで何度か火起こし体験をしても失敗に終わっていた担任の先生が初めて着火できたことに大変喜んでおられました。皆さん笑顔で体験を終えられたことは大変すばらしかったです。これからも地域の歴史に興味関心を持っていただけると嬉しいです。